

第一部

第1章 データで見る過去3年間の調査結果

第1節 分析の手法

(1) 「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」という。）と「奈良県学力・学習状況調査」（以下「奈良県調査」という。）の学力調査の比較を、全国偏差値および県偏差値を用いて行った。

全国偏差値による比較には、全国調査は各児童生徒の全国偏差値の平均を用い、奈良県調査は奈良県が独自に小学4年生及び中学1年生を対象に実施した調査であり、悉皆調査と同様の全国平均は求めることができないため、統計的手法により全国偏差値を推定した。データ数（奈良県の受検者数）が10,000を超えることから、「大標本法」により全国の標準偏差を奈良県の標準偏差（私立を含む全受検者のデータで算出）で代用し、全国平均を信頼区間95%で区間推定した。推定した全国平均を用いて全国偏差値を算出しているため、奈良県調査における全国偏差値には幅がある。

平成27年度奈良県調査と平成29年度全国調査の県偏差値による比較では、全国調査、奈良県調査とも各児童生徒の県偏差値の平均を用いた。

なお、公立小学校及び公立中学校の児童生徒の中で、全国調査については4科目全てを受検した児童生徒を、奈良県調査については2科目全てを受検した児童生徒を対象に分析を行った。

(2) 設問分析については、従来の「主として知識（基礎）に関する問題」「主として活用に関する問題」、問題形式による「選択式」「短答式」「記述式」に加え、各設問がどのような手続きや思考を問うているのかを吟味し、分析に活用した。

ブルーム（1973）は、教育目標分類【認知的領域】として、①知識（情報や概念を想起する）、②理解（伝えられたことがわかり、素材や観念を利用できる）、③応用（情報や概念を特定の具体的な状況で使う）、④分析（情報や概念を各部分に分解し、相互の関係を明らかにする）、⑤総合（様々な概念を組み合わせて新たなものを形作る）、⑥評価（素材や方法の価値を目的に照らして判断する）の6段階を措定する。

また、アンダーソン&クラートウォール（2001）は、「New Blooms Taxonomy」として、①Remember（思い出し：情報を呼び出す学習者の能力）、②Understand（理解：情報を理解する学習者の能力）、③Apply（適用：新しい方法で情報を使用する学習者の能力）、④Analyze（分析：情報を本質的な部分に分解する学習者の能力）、⑤Evaluate（評価：情報を判断または批判する学習者の能力）、⑥Create（創造：異なる情報要素から新しいものを作成する学習者の能力）を提案している。

表1 改訂版ブルーム分類学（アンダーソン他）

知識次元	認知過程の次元					
	①記憶	②理解	③応用	④分析	⑤評価	⑥創造
事実的認識						
概念的知識						
遂行的知識						
メタ認知的知識						

本分析では、これらの知見を基に、奈良県の児童生徒のつまずきがどこにあるのかを明らかにするため、過去3年間の全国調査及び奈良県調査の全ての設問を、「想起（知っているかどうかを問う）」、「理解（意味が分かっているかどうかを問う）」「活用（知っていることを使えるかどうかを問う）」に分類し、表1の着色部分を主に設問分析に用いた。ただし、設問により、「活用」に分類した設問が、認知過程④～⑥に関わると判断される場合は、その問いがどこまでを問うているのかを判断し、「知識の使い方」が分析的であるか、評価的であるか、創造的であるかも踏まえ分析に活用した。

表2 問題類型ごとの設問の例

問題類型	国 語	算数・数学
想起	<ul style="list-style-type: none"> 漢字、ローマ字の読み書きなど「言語についての知識・技能」に関する設問 古典など「我が国の言語文化」に関する設問 など 	<ul style="list-style-type: none"> 計算問題や作図方法など、「知識・理解」に関する設問 など
理解	<ul style="list-style-type: none"> 主として内容を問う設問 意図や意味を問う設問 文章、図・表などから得られる情報を基に自分の考えを書く設問 など 	<ul style="list-style-type: none"> グラフなどから読み取った情報を基に課題に答える設問 知識を生かして課題に答える設問 など
活用	<ul style="list-style-type: none"> 複数の情報を組み合わせて理解し、自分の考えを書く設問 情報を分析的に捉え、知識を基に自分の考えを書く設問 など 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を読み取り、条件のある課題に答える設問 複数の情報を関係付け、課題に即してまとめる設問 など

(3) 市・郡部別、学級人数別のデータ数は次のとおりである。

①平成29年度の市・郡部別のデータ数（教科に関する全ての調査に解答した児童生徒数）

	市 部	郡 部	合 計
小学校	8, 544人	2, 210人	10, 754人
中学校	8, 382人	2, 142人	10, 524人

②平成29年度の学級人数別のデータ数（教科に関する全ての調査に解答した児童生徒数）

	15人以下	16～29人	30人以上
小学校	273人	5, 926人	4, 555人
中学校	172人	1, 960人	8, 392人

(4) 全国調査については、総合成績順位上位3県（秋田県、石川県、福井県）の調査結果と比較し、奈良県の課題を明らかにした。

表3 都道府県校種別総合成績順位

	小学校			中学校		
	H27	H28	H29	H27	H28	H29
秋田県	1 (1)	2	2	2 (2)	2	3
石川県	2 (2)	1	1	3 (3)	3	2
福井県	3 (3)	3	3	1 (1)	1	1
奈良県	23 (25)	36	35	19 (22)	20	20

※H27の（ ）内は、理科を含んだ順位。

(5) SPSS（統計解析ソフト）を用いた相関分析

平成29年度全国調査及び平成29年度奈良県調査における学力調査と質問紙調査における相関関係を調べるため、SPSSによる相関分析を行った。（詳細は、第2章第3節p.37～参照）

本分析では、次の表を目安に相関の強さを見た。

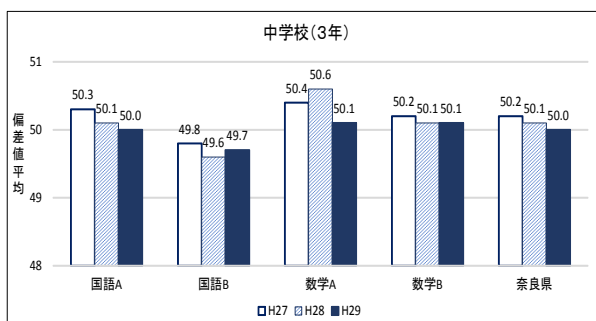
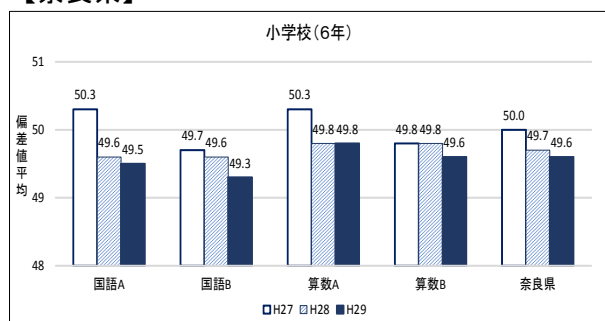
相関係数	相 関
-0.2～0.2	ほとんど相関がない
-0.4～-0.2、0.2～0.4	弱い相関がある
-0.7～-0.4、0.4～0.7	やや相関がある
-1～-0.7、0.7～1	強い相関がある

第2節 全国調査及び奈良県調査結果の3年間の推移

(1) 学力調査

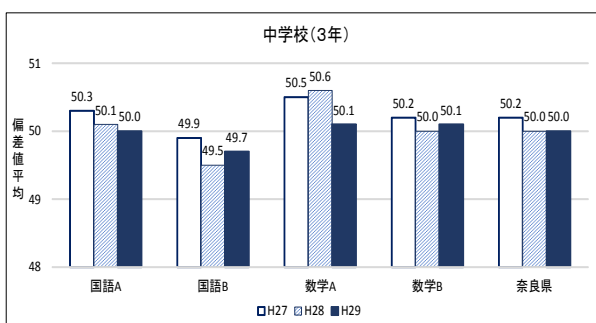
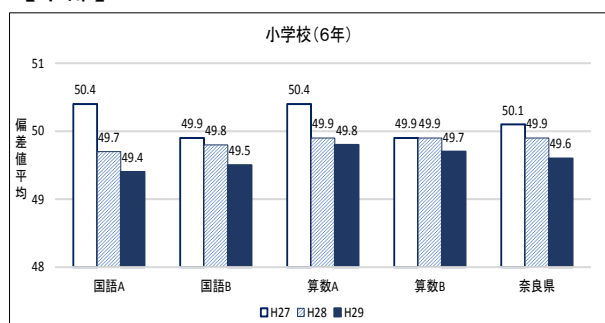
ア 全国調査

【奈良県】

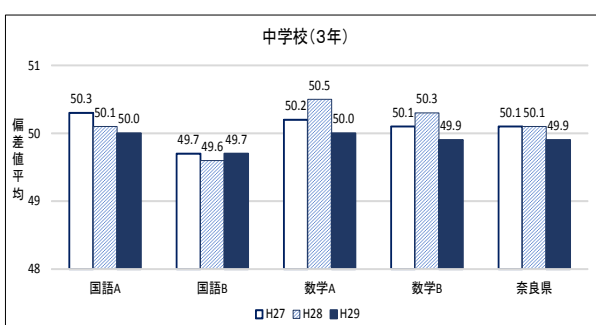
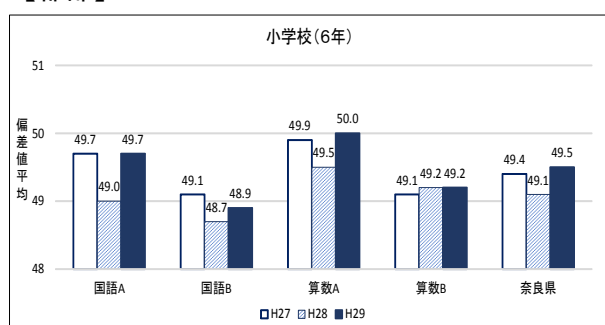


全国調査における学力調査結果の3年間の推移を全国偏差値で見ると、県全体で、小学校が下降傾向にあり、中学校はほぼ変動が見られない。

【市部】

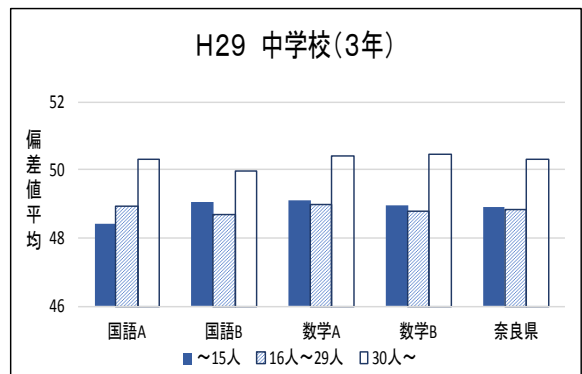
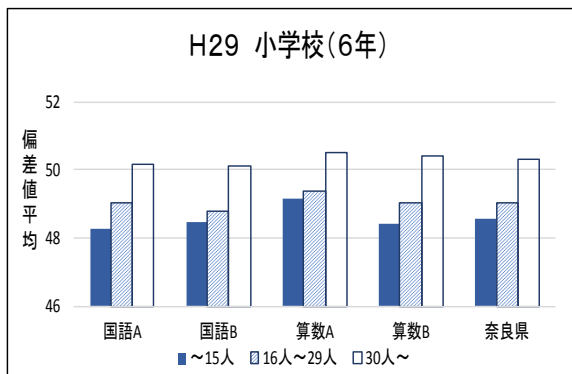
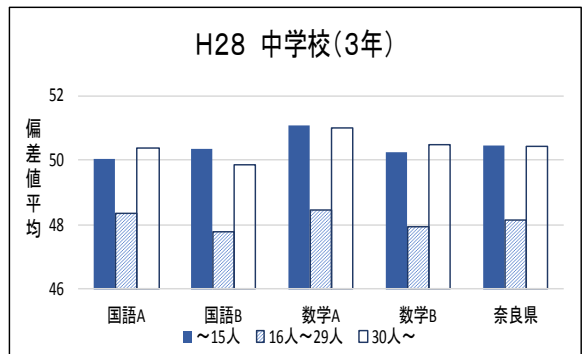
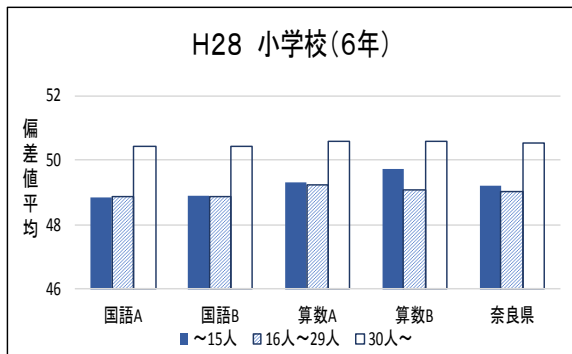
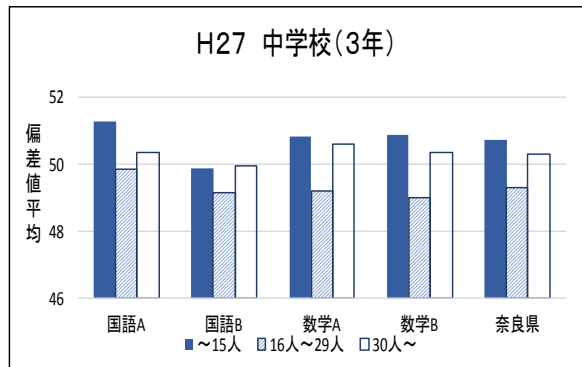
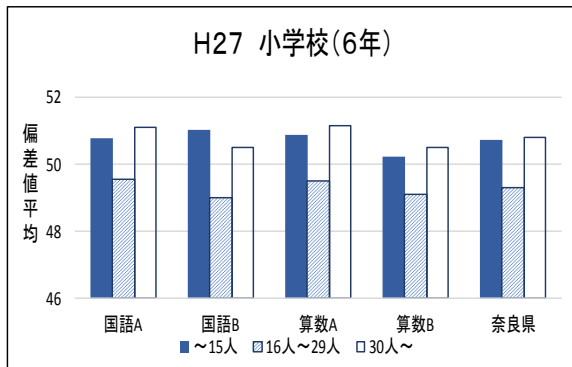


【郡部】



市・郡部別に見ると、市部では県全体とほぼ同じ傾向にあるが、郡部では小学校で、平成29年度は平成28年度よりも偏差値が上昇している。

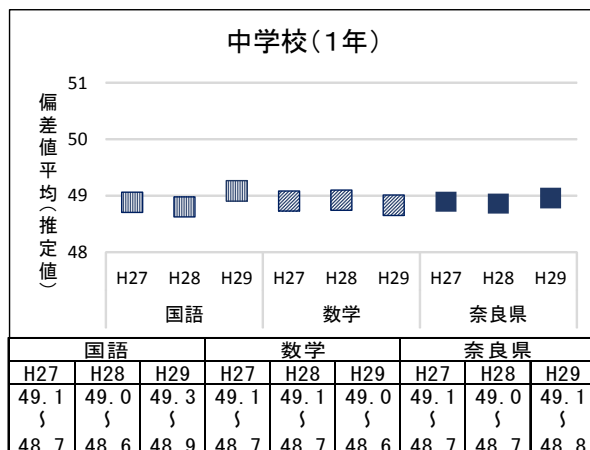
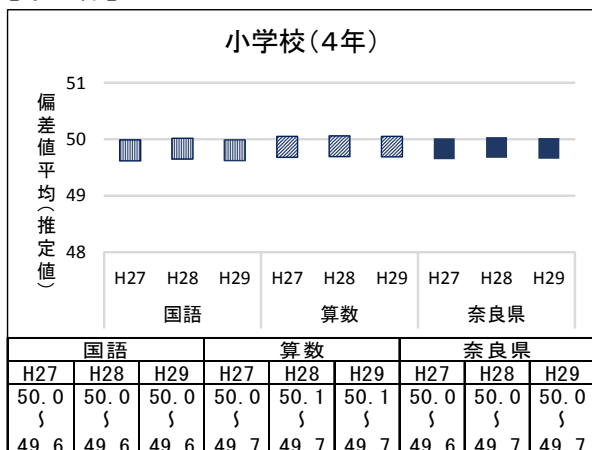
【学級人数別】



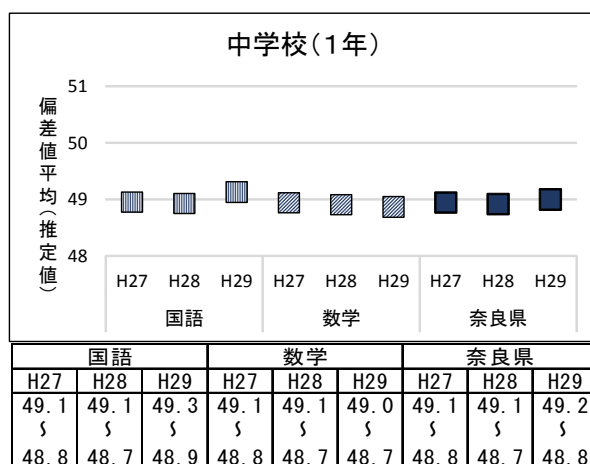
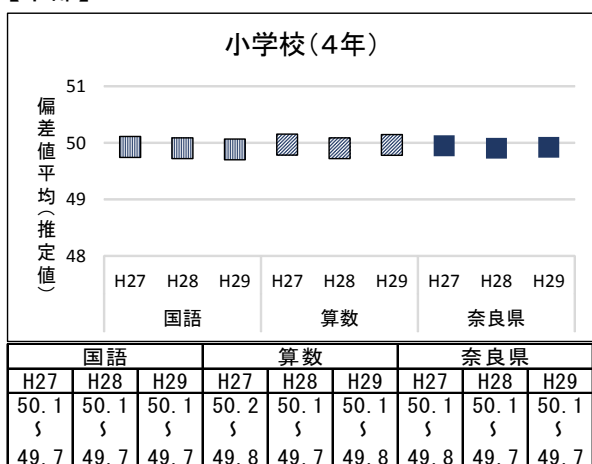
学級人数別に見ると、学力調査結果と学級人数との間に相関は見られない。

イ 奈良県調査

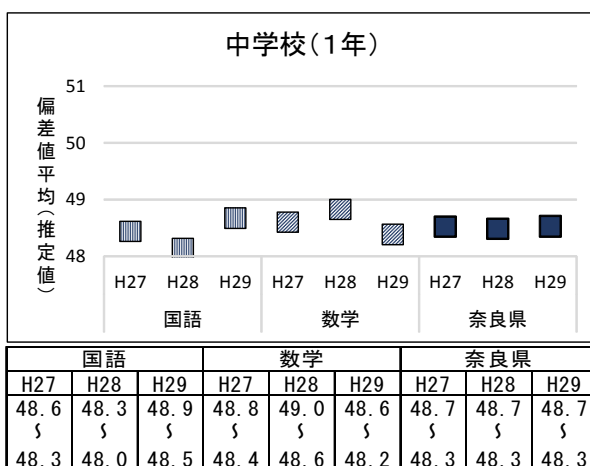
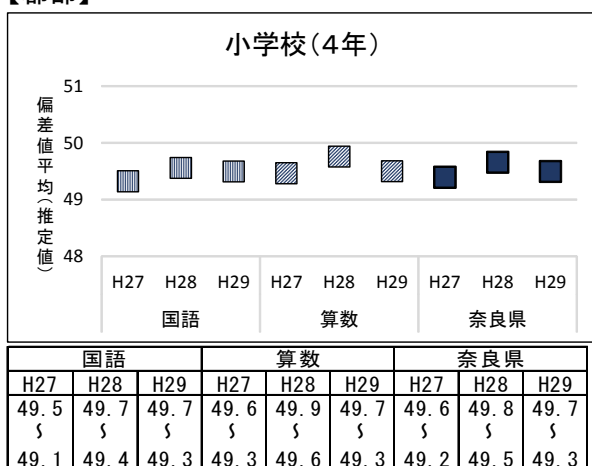
【県全体】



【市部】



【郡部】



奈良県調査における学力調査結果の3年間の推移を全国偏差値で見ると、県全体、市・郡部別いずれについても、小学校ではほぼ変動が見られず、中学校では国語が上昇傾向にある。

(2) 質問紙調査

ア 全国調査

全国調査における質問紙調査結果の3年間の推移を見ると、県全体では、学習に対する関心・意欲に関する項目において全国平均より低い傾向にある。また、「家で、普段全く勉強しない」「授業以外に、普段全く読書をしない」児童生徒の割合は全国より高い傾向にある。一方、「家で、普段1時間以上勉強する」児童生徒の割合は小学校で全国平均より低く、中学校で全国平均より高い傾向にある。家での復習は、小学校、中学校とも全国平均より低い。規範意識については、中学校で全国平均より低い傾向にあるが、その差は小さくなってきている。

【県全体】

■ 児童生徒質問紙調査の結果
○学習に対する関心・意欲・時間等

		H27奈良県	H27全国	H28奈良県	H28全国	H29奈良県	H29全国
国語の勉強は好き	小学校	61.4	61.1	58.7	58.3	58.5	60.5
	中学校	56.5	60.5	56.2	59.8	56.7	60.5
国語の勉強は大切だと思う	小学校	91.4	92.0	91.4	91.3	90.5	91.2
	中学校	88.0	89.9	87.5	89.1	86.8	88.8
国語の授業の内容はよく分かる	小学校	83.0	82.0	81.7	80.7	82.7	82.2
	中学校	72.6	74.3	72.5	74.1	73.0	74.9
国語の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	88.1	88.6	88.4	89.2	86.4	87.9
	中学校	79.8	84.2	81.4	84.6	79.7	83.3
算数・数学の勉強は好き	小学校	62.8	66.6	63.2	66.0	63.9	65.9
	中学校	53.2	56.0	53.6	56.0	54.6	55.4
算数・数学は大切だと思う	小学校	92.3	93.1	91.4	91.9	91.3	92.0
	中学校	79.0	82.6	76.2	80.5	77.7	81.1
算数・数学の授業の内容はよく分かる	小学校	79.9	81.0	79.8	80.2	80.6	80.6
	中学校	72.7	71.6	70.7	69.4	70.9	69.4
算数・数学の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	90.1	90.3	88.8	89.9	87.9	89.1
	中学校	66.7	72.5	65.9	71.5	67.7	72.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	小学校	57.4	62.8	56.8	62.2	59.3	64.5
	中学校	47.2	48.8	48.2	48.4	48.9	51.5
家で、普段(月～金)、勉強を全くしない	小学校	3.9	3.0	4.4	3.0	4.6	2.9
	中学校	7.8	5.3	7.6	5.5	6.8	4.9
家で、普段(月～金)、1日当たり1時間以上、勉強をしている	小学校	61.2	62.7	59.7	62.5	59.6	64.4
	中学校	72.8	69.0	72.4	67.9	73.0	69.6
学校の授業以外に、普段、読書を全くしない	小学校	23.5	19.9	24.0	20.6	24.3	20.5
	中学校	42.6	35.0	44.0	37.2	42.4	35.6
家で、学校の宿題をしている	小学校	97.2	96.8	97.4	97.0	97.3	96.9
	中学校	84.2	89.3	86.1	90.1	84.5	89.5
家で、学校の授業の予習をしている	小学校	38.6	43.4	38.5	43.3	36.2	41.0
	中学校	36.3	35.3	35.1	34.2	31.9	31.7
家で、学校の授業の復習をしている	小学校	45.0	54.5	46.9	55.2	44.7	53.8
	中学校	41.0	52.0	41.6	51.0	40.7	50.5

○規範意識

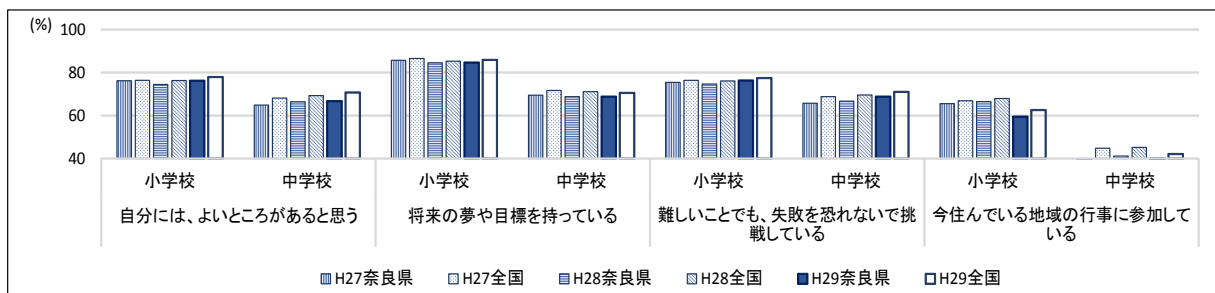
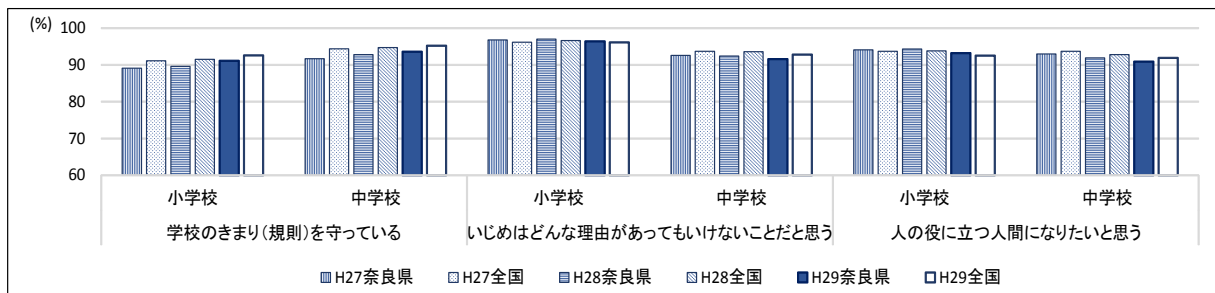
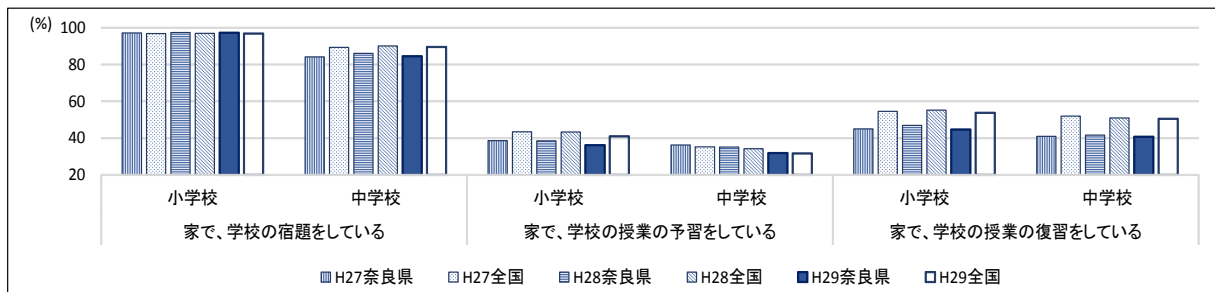
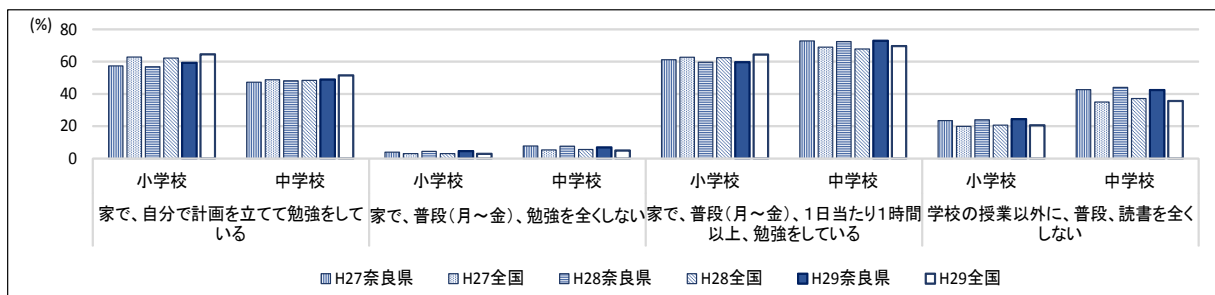
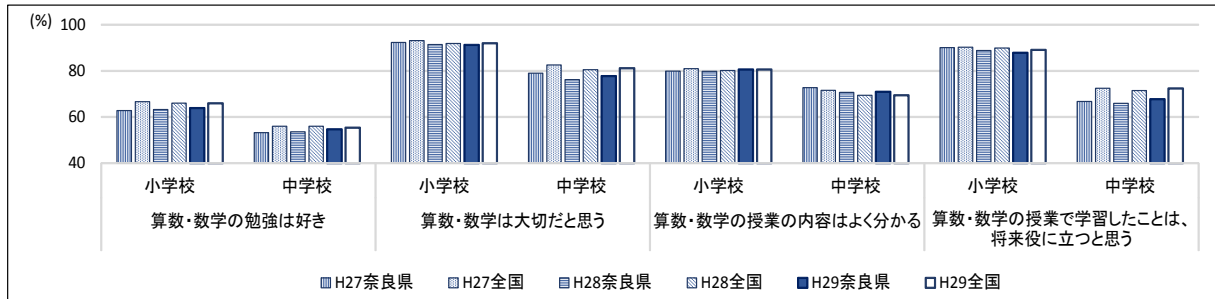
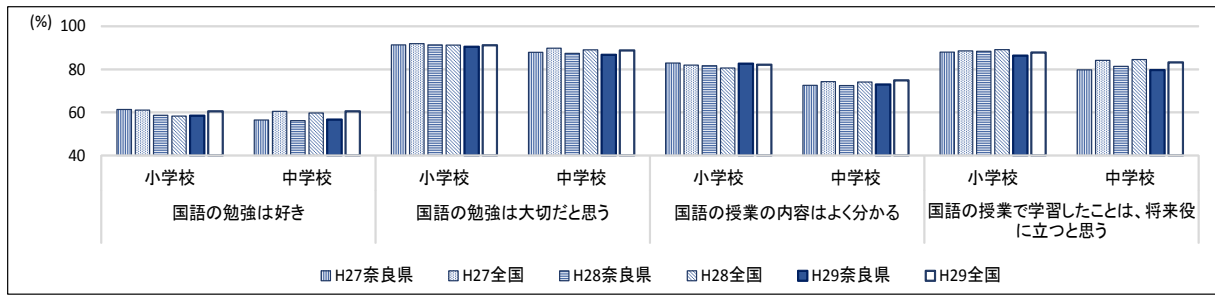
		H27奈良県	H27全国	H28奈良県	H28全国	H29奈良県	H29全国
学校のきまり(規則)を守っている	小学校	89.1	91.1	89.6	91.5	91.1	92.6
	中学校	91.7	94.4	92.8	94.7	93.6	95.2
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	96.8	96.2	97.0	96.6	96.4	96.1
	中学校	92.6	93.7	92.4	93.6	91.6	92.8
人の役に立つ人間になりたいと思う	小学校	94.1	93.7	94.3	93.8	93.2	92.5
	中学校	93.0	93.7	91.9	92.8	90.9	91.9

○自尊意識及び社会に対する関心

		H27奈良県	H27全国	H28奈良県	H28全国	H29奈良県	H29全国
自分には、よいところがあると思う	小学校	76.2	76.4	74.5	76.3	76.2	77.9
	中学校	64.9	68.1	66.4	69.3	66.7	70.7
将来の夢や目標を持っている	小学校	85.7	86.5	84.5	85.3	84.6	85.9
	中学校	69.5	71.7	68.8	71.1	68.8	70.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	小学校	75.4	76.4	74.7	76.1	76.3	77.4
	中学校	65.7	68.8	66.7	69.6	68.8	71.0
今住んでいる地域の行事に参加している	小学校	65.5	66.9	66.5	67.9	59.5	62.6
	中学校	39.3	44.8	41.2	45.2	35.7	42.1

○生活習慣

		H27奈良県	H27全国	H28奈良県	H28全国	H29奈良県	H29全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	76.7	79.5	77.6	80.1	76.3	79.8
	中学校	72.1	75.2	71.8	75.2	71.4	75.6
毎日、同じくらいの時刻に起きている	小学校	90.4	91.0	90.3	90.8	90.8	91.2
	中学校	90.5	92.1	91.9	92.3	91.4	92.4



【市・郡部】

平成29年度質問紙調査を見ると、市・郡部別では、「地域の行事に参加している」児童生徒の割合は小学校、中学校とも市部より郡部の方が高い傾向にある。

■ 児童生徒質問紙調査の結果

○学習に対する関心・意欲・時間等

		H29県全体	H29市	H29郡	H29全国
国語の勉強は好き	小学校	58.5	58.5	58.3	60.5
	中学校	56.7	56.7	55.4	60.5
国語の勉強は大切だと思う	小学校	90.5	90.5	90.6	91.2
	中学校	86.8	86.5	86.6	88.8
国語の授業の内容はよく分かる	小学校	82.7	82.9	81.4	82.2
	中学校	73.0	72.6	73.3	74.9
国語の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	86.4	86.4	86.5	87.9
	中学校	79.7	79.1	80.8	83.3
算数・数学の勉強は好き	小学校	63.9	63.9	63.7	65.9
	中学校	54.6	54.6	53.6	55.4
算数・数学は大切だと思う	小学校	91.3	91.2	92.2	92.0
	中学校	77.7	77.5	77.1	81.1
算数・数学の授業の内容はよく分かる	小学校	80.6	80.5	81.1	80.6
	中学校	70.9	71.1	68.2	69.4
算数・数学の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	87.9	88.0	88.0	89.1
	中学校	67.7	67.5	67.3	72.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	小学校	59.3	59.8	57.6	64.5
	中学校	48.9	48.8	48.4	51.5
家で、普段(月～金)、勉強を全くしない	小学校	4.6	4.5	4.8	2.9
	中学校	6.8	6.7	7.1	4.9
家で、普段(月～金)、1日当たり1時間以上、勉強をしている	小学校	59.6	59.7	59.1	64.4
	中学校	73.0	72.6	73.3	69.6
学校の授業以外に、普段、読書を全くしない	小学校	24.3	23.9	25.5	20.5
	中学校	42.4	43.8	36.6	35.6
家で、学校の宿題をしている	小学校	97.3	97.2	97.8	96.9
	中学校	84.5	84.0	85.3	89.5
家で、学校の授業の予習をしている	小学校	36.2	36.3	35.8	41.0
	中学校	31.9	31.6	32.6	31.7
家で、学校の授業の復習をしている	小学校	44.7	44.8	44.3	53.8
	中学校	40.7	40.3	40.5	50.5

○規範意識

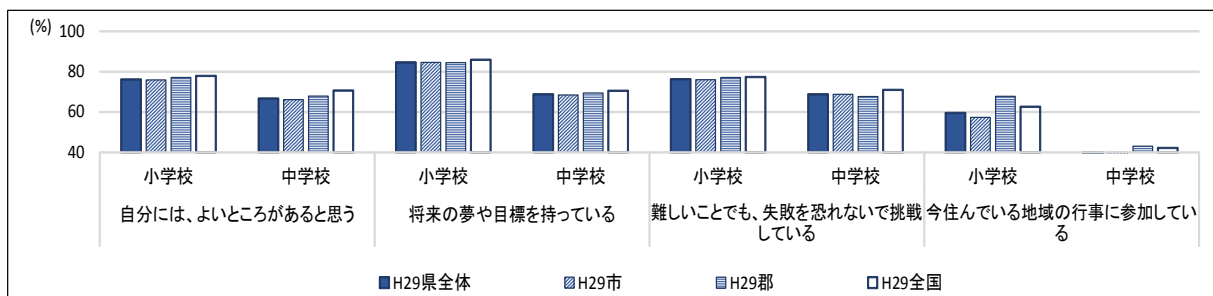
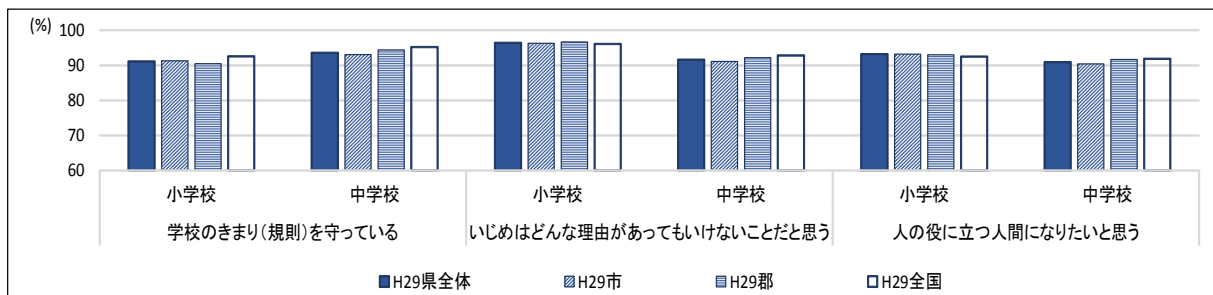
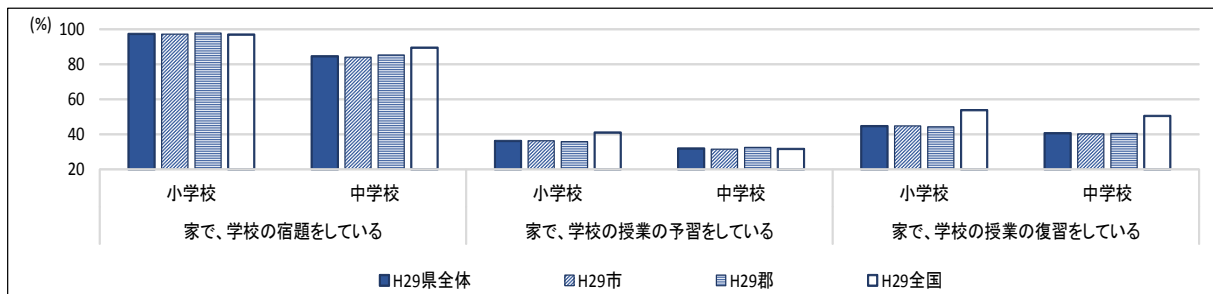
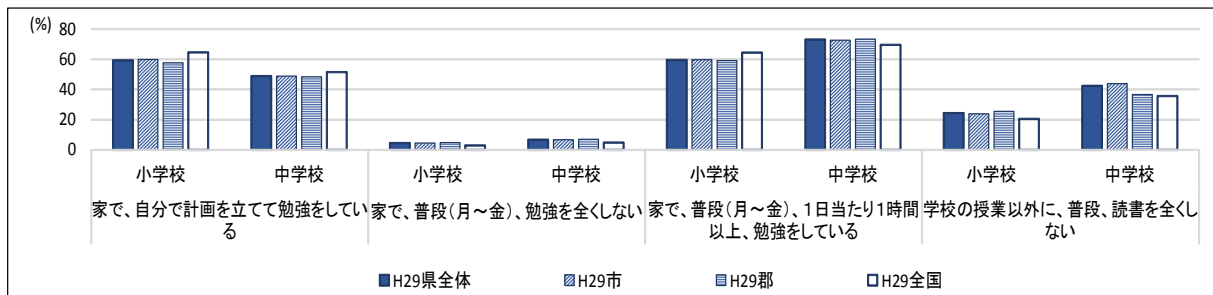
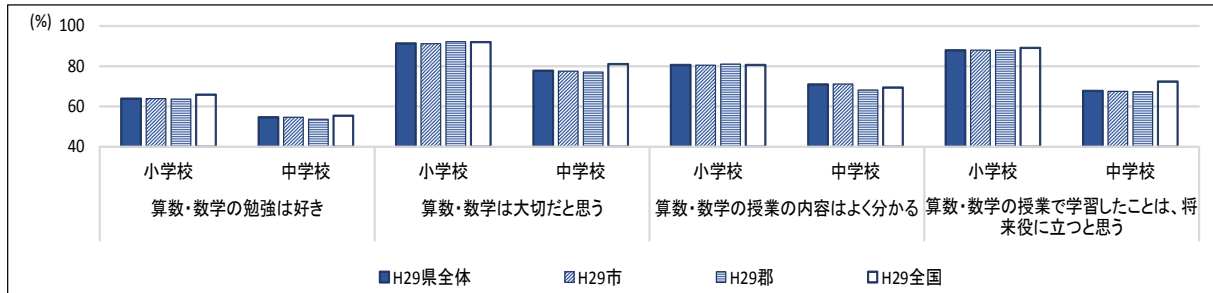
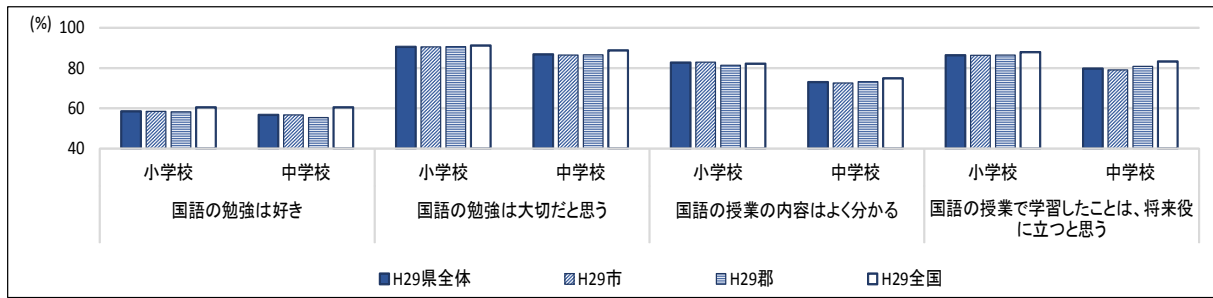
		H29県全体	H29市	H29郡	H29全国
学校のきまり(規則)を守っている	小学校	91.1	91.3	90.5	92.6
	中学校	93.6	93.1	94.4	95.2
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	96.4	96.3	96.7	96.1
	中学校	91.6	91.1	92.2	92.8
人の役に立つ人間になりたいと思う	小学校	93.2	93.2	93.0	92.5
	中学校	90.9	90.4	91.7	91.9

○自尊意識及び社会に対する関心

		H29県全体	H29市	H29郡	H29全国
自分には、よいところがあると思う	小学校	76.2	75.9	77.1	77.9
	中学校	66.7	66.1	67.9	70.7
将来の夢や目標を持っている	小学校	84.6	84.6	84.5	85.9
	中学校	68.8	68.4	69.4	70.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	小学校	76.3	76.1	77.2	77.4
	中学校	68.8	68.8	67.7	71.0
今住んでいる地域の行事に参加している	小学校	59.5	57.3	67.8	62.6
	中学校	35.7	33.7	43.0	42.1

○生活習慣

		H29県全体	H29市	H29郡	H29全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	小学校	76.3	76.4	76.3	79.8
	中学校	71.4	71.4	70.4	75.6
毎日、同じくらいの時刻に起きている	小学校	90.8	90.6	91.4	91.2
	中学校	91.4	91.2	91.1	92.4



【学級人数別】

学級人数別では、学習に対する関心・意欲に関する項目で、小学校、中学校とも少人数（15人以下）学級の肯定的回答の割合が高い。「授業以外に、普段全く読書をしない」児童生徒の割合は少人数（15人以下）学級が低く、中学校で顕著である。また、「学校のきまり（規則）を守っている」「地域の行事に参加している」児童生徒の割合は少人数（15人以下）学級が高くなっている。

■ 児童生徒質問紙調査の結果

○学習に対する関心・意欲・時間等

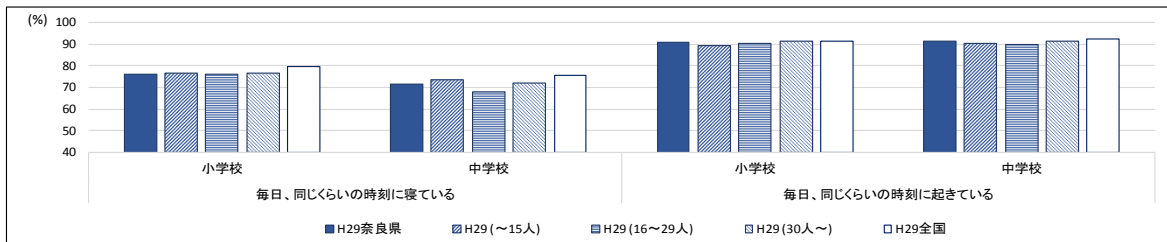
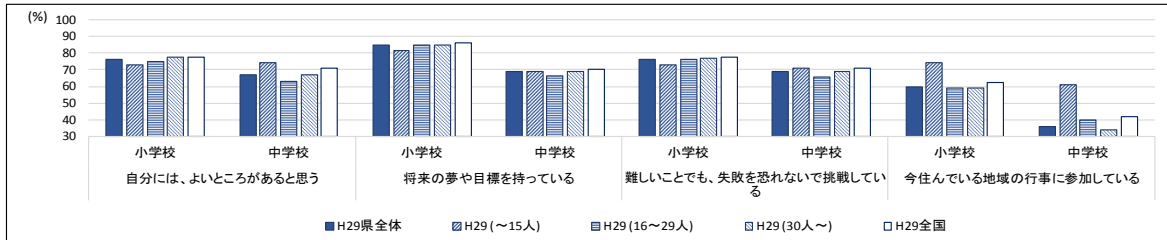
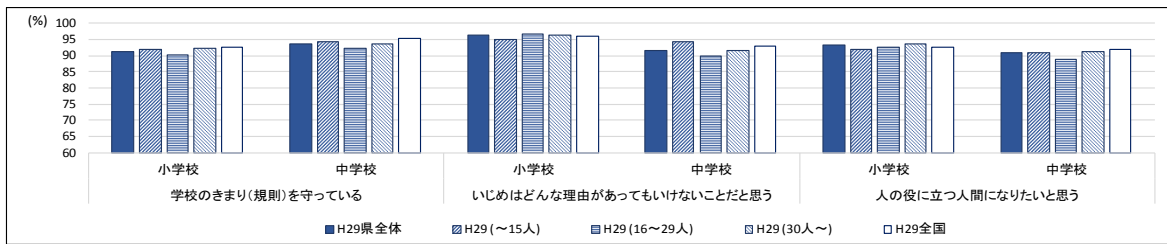
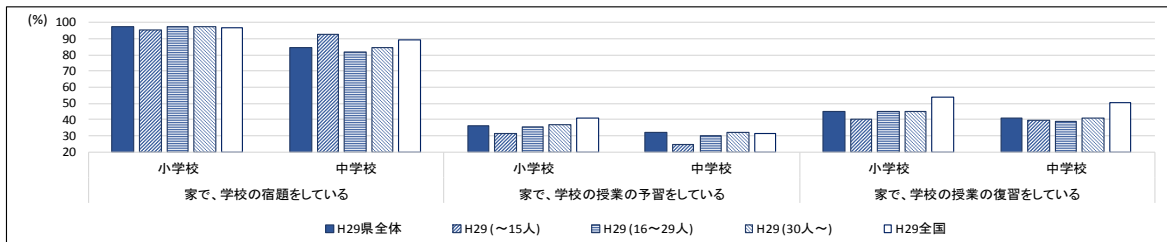
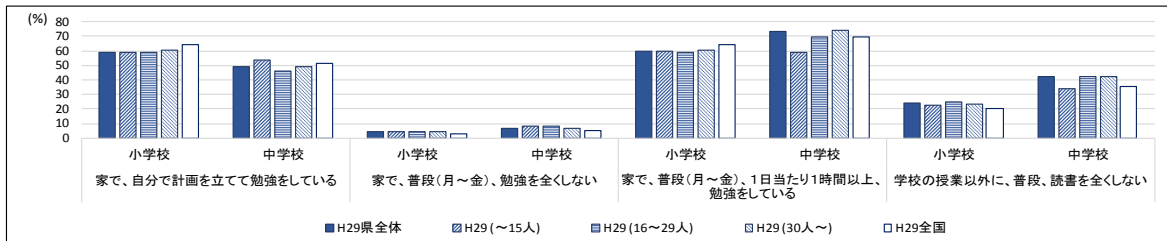
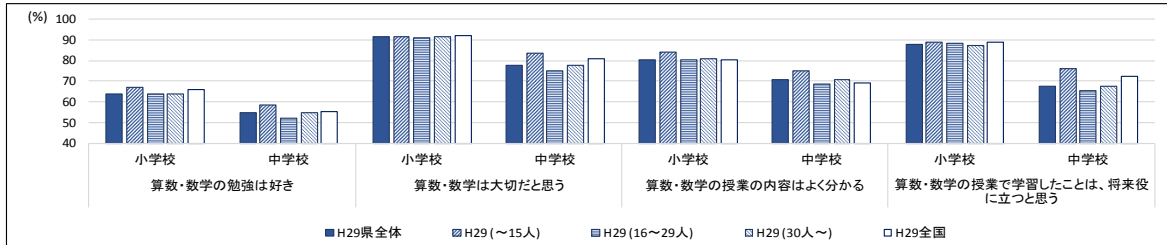
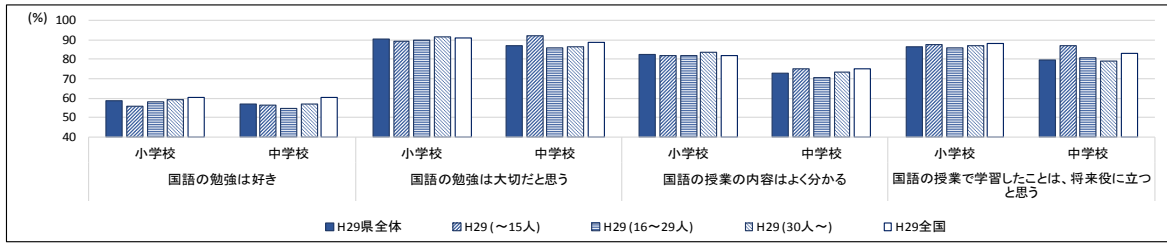
		H29県全体	H29（～15人）	H29（16～29人）	H29（30人～）	H29全国
国語の勉強は好き	小学校	58.5	55.6	57.9	59.3	60.5
	中学校	56.7	56.1	54.6	56.9	60.5
国語の勉強は大切だと思う	小学校	90.5	89.1	89.9	91.3	91.2
	中学校	86.8	91.9	86.1	86.5	88.8
国語の授業の内容はよく分かる	小学校	82.7	82.2	81.9	83.6	82.2
	中学校	73.0	75.1	70.8	73.2	74.9
国語の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	86.4	87.6	86.0	86.8	87.9
	中学校	79.7	87.3	81.0	79.0	83.3
算数・数学の勉強は好き	小学校	63.9	67.3	63.8	63.8	65.9
	中学校	54.6	58.4	52.3	54.9	55.4
算数・数学は大切だと思う	小学校	91.3	91.6	91.2	91.6	92.0
	中学校	77.7	83.8	75.3	77.9	81.1
算数・数学の授業の内容はよく分かる	小学校	80.6	84.0	80.3	80.8	80.6
	中学校	70.9	75.1	68.9	70.9	69.4
算数・数学の授業で学習したことは、将来役に立つと思う	小学校	87.9	89.1	88.5	87.3	89.1
	中学校	67.7	76.3	65.3	67.8	72.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	小学校	59.3	58.9	58.6	60.3	64.5
	中学校	48.9	53.8	46.1	49.3	51.5
家で、普段（月～金）、勉強を全くしない	小学校	4.6	4.4	4.7	4.4	2.9
	中学校	6.8	8.1	8.3	6.4	4.9
家で、普段（月～金）、1日当たり1時間以上、勉強をしている	小学校	59.6	60.0	58.8	60.6	64.4
	中学校	73.0	59.0	69.4	73.7	69.6
学校の授業以外に、普段、読書を全くしない	小学校	24.3	22.5	24.9	23.6	20.5
	中学校	42.4	34.1	42.5	42.4	35.6
家で、学校の宿題をしている	小学校	97.3	95.6	97.5	97.2	96.9
	中学校	84.5	92.5	81.5	84.8	89.5
家で、学校の授業の予習をしている	小学校	36.2	31.6	35.8	37.1	41.0
	中学校	31.9	24.3	29.8	32.4	31.7
家で、学校の授業の復習をしている	小学校	44.7	40.4	44.8	44.7	53.8
	中学校	40.7	39.9	39.1	40.8	50.5

○規範意識

		H29県全体	H29（～15人）	H29（16～29人）	H29（30人～）	H29全国
学校のきまり（規則）を守っている	小学校	91.1	92.0	90.2	92.3	92.6
	中学校	93.6	94.2	92.3	93.7	95.2
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	小学校	96.4	94.9	96.5	96.3	96.1
	中学校	91.6	94.2	89.7	91.7	92.8
人の役に立つ人間になりたいと思う	小学校	93.2	92.0	92.7	93.7	92.5
	中学校	90.9	90.8	88.9	91.1	91.9

○自尊意識及び社会に対する関心

		H29奈良県	H29（～15人）	H29（16～29人）	H29（30人～）	H29全国
自分には、よいところがあると思う	小学校	76.2	72.7	75.2	77.5	77.9
	中学校	66.7	74.0	62.7	67.2	70.7
将来の夢や目標を持っている	小学校	84.6	81.8	84.7	84.6	85.9
	中学校	68.8	68.8	66.2	69.2	70.5



イ 奈良県調査

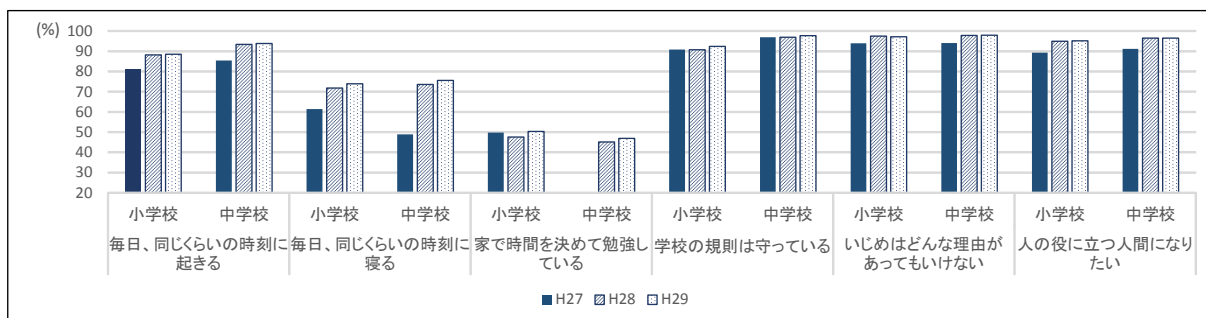
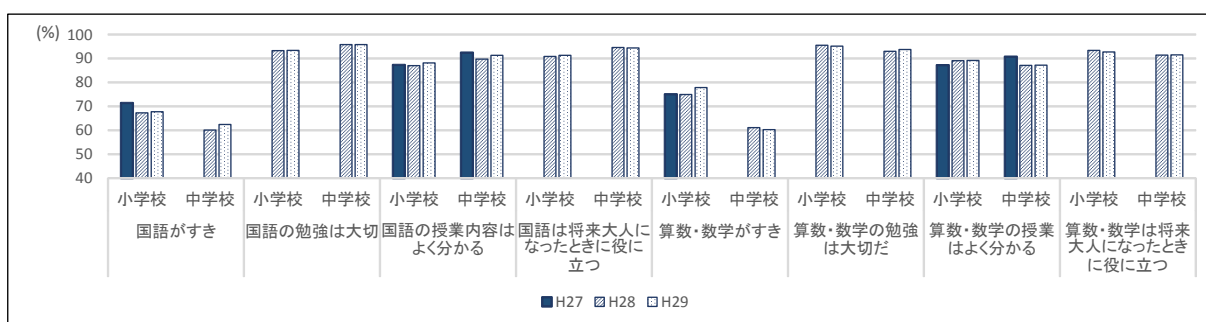
生活習慣及び規範意識については、小学校、中学校ともに改善傾向にある。

■ 児童生徒質問紙調査の結果 ○学習に対する関心・意欲・時間等

		H27	H28	H29
国語がすき	小学校	71.4	67.3	67.8
	中学校		60.1	62.4
国語の勉強は大切	小学校		93.3	93.4
	中学校		95.8	95.8
国語の授業内容はよく分かる	小学校	87.3	87.0	88.1
	中学校	92.5	89.7	91.4
国語は将来大人になったときに役に立つ	小学校		90.8	91.3
	中学校		94.6	94.4
算数・数学がすき	小学校	75.0	74.9	77.8
	中学校		61.1	60.3
算数・数学の勉強は大切だ	小学校		95.5	95.1
	中学校		93.0	93.7
算数・数学の授業はよく分かる	小学校	87.2	89.1	89.1
	中学校	90.8	87.1	87.2
算数・数学は将来大人になったときに役に立つ	小学校		93.4	92.8
	中学校		91.4	91.5

○生活習慣、規範意識等

		H27	H28	H29
毎日、同じくらいの時刻に起きる	小学校	80.9	88.2	88.5
	中学校	85.4	93.4	93.9
毎日、同じくらいの時刻に寝る	小学校	61.4	71.8	73.9
	中学校	48.9	73.6	75.6
家で時間を決めて勉強している	小学校	49.8	47.6	50.3
	中学校		45.1	46.9
学校の規則は守っている	小学校	90.9	90.8	92.4
	中学校	97.0	97.0	97.7
いじめはどんな理由があってもいけない	小学校	93.9	97.5	97.2
	中学校	94.1	97.8	97.9
人の役に立つ人間になりたい	小学校	89.3	94.9	95.2
	中学校	91.2	96.5	96.5



第3節 同一学年集団の変容

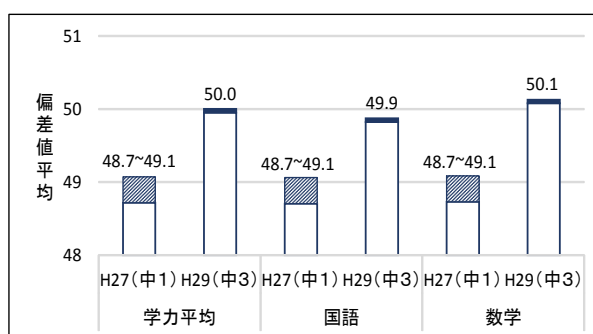
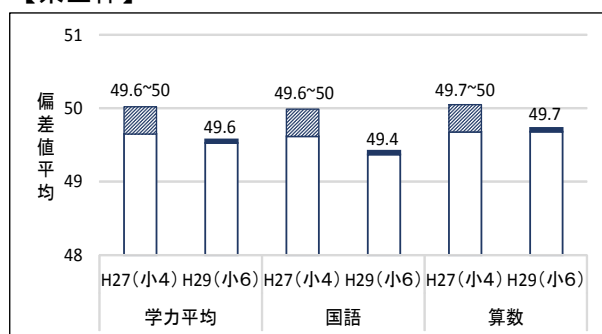
(1) 学力調査

ア 平成27年度奈良県調査結果と平成29年度全国調査結果の全国偏差値での比較

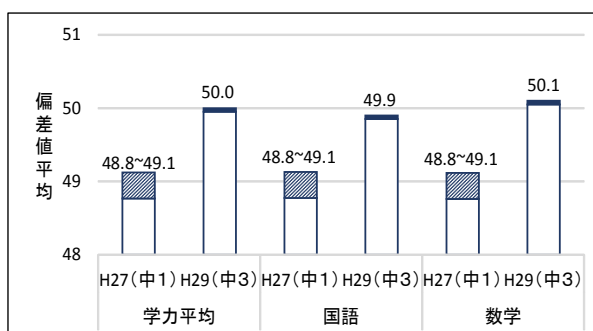
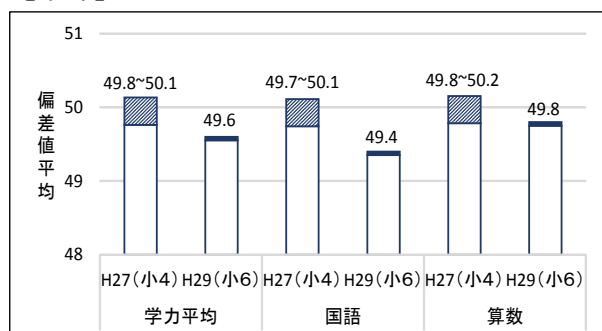
同一学年集団の変容を全国偏差値で見ると、小学校では大きな変化が見られないが、中学校では上昇していることが分かる。

なお、奈良県調査（小4及び中1）の結果については、推定した全国平均を用いて全国偏差値を算出しているため、グラフでは幅を付けて示している。

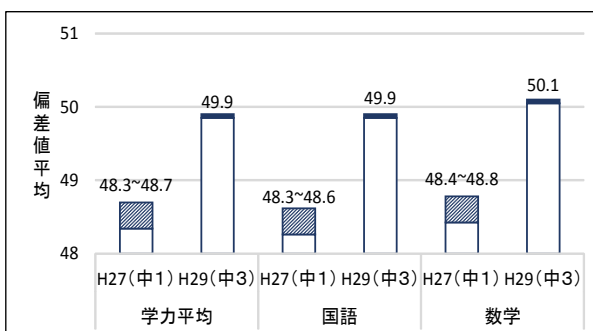
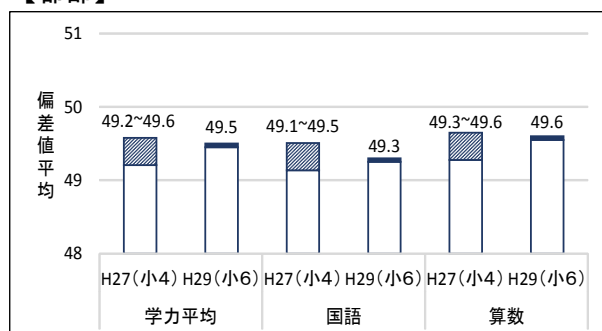
【県全体】



【市部】



【郡部】

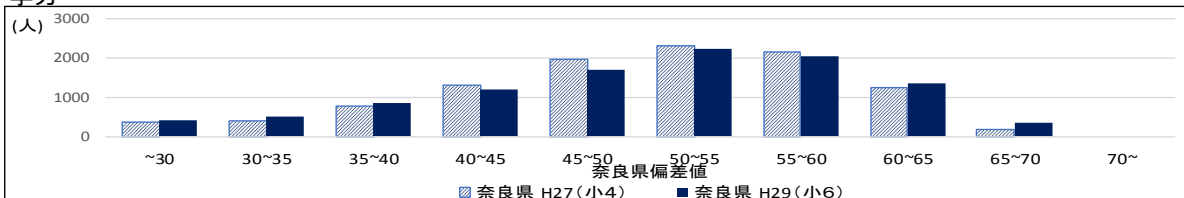


イ 平成27年度奈良県調査結果と平成29年度全国調査結果の県偏差値での比較

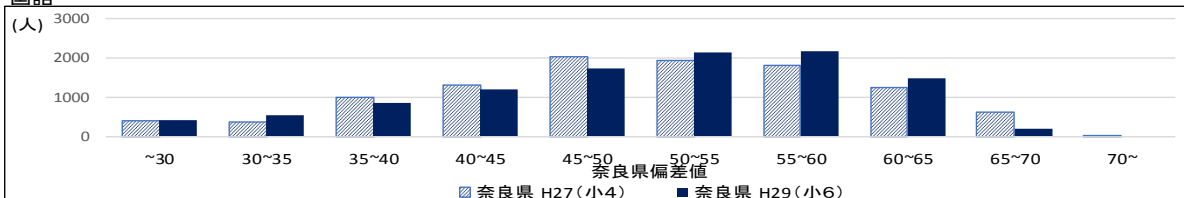
同一集団の変容を県偏差値で見ると、小学校、中学校とも、学力の低い層と高い層が共に増加傾向にあり、中間層が減少していることが分かる。低位へおかれていく児童生徒の原因の把握と対応が大きな課題であるといえる。

【小学校 県全体】

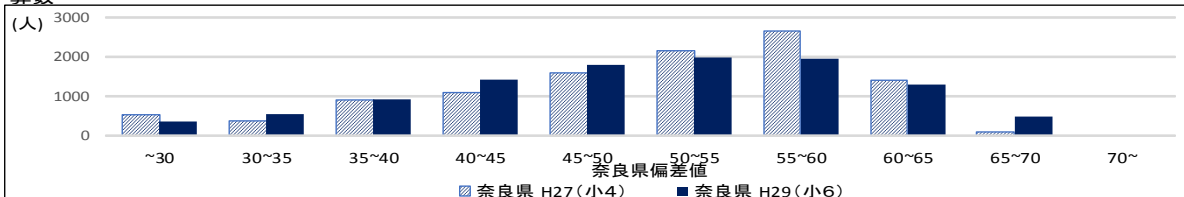
学力



国語

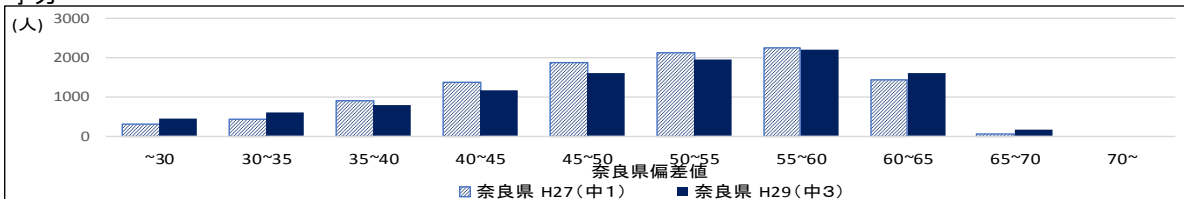


算数

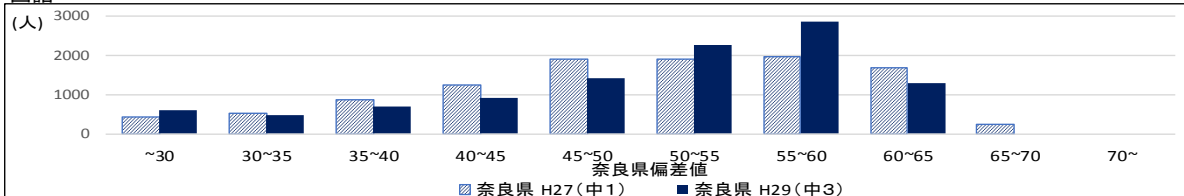


【中学校 県全体】

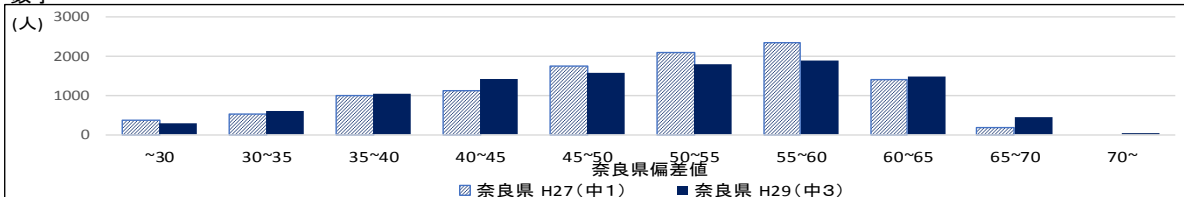
学力



国語

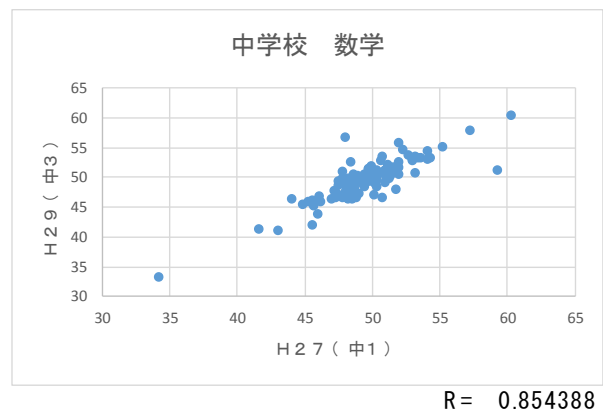
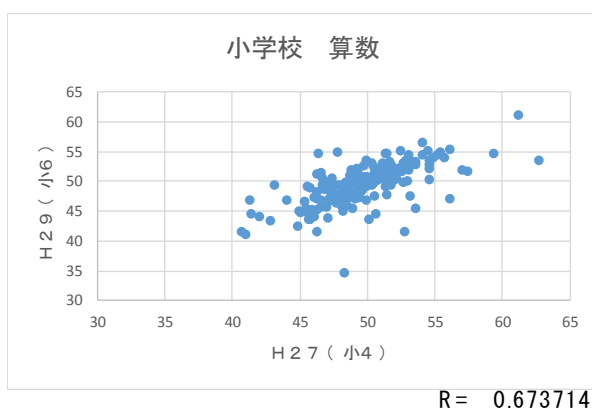
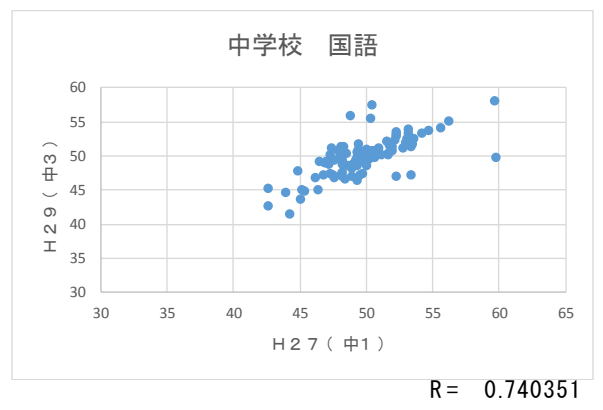
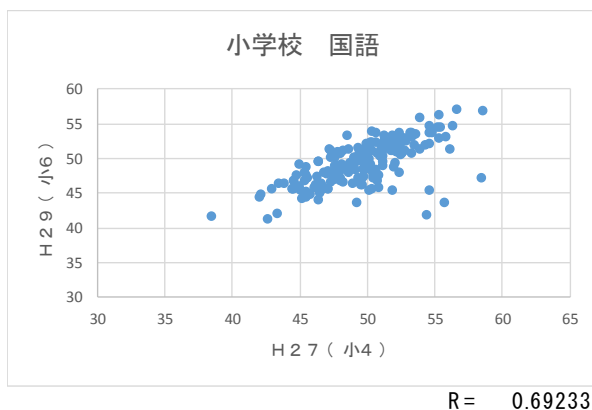
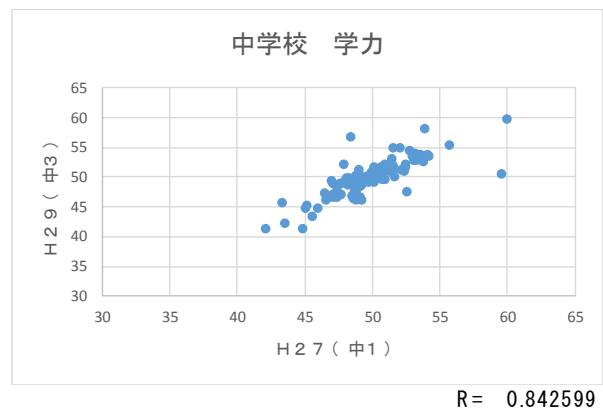
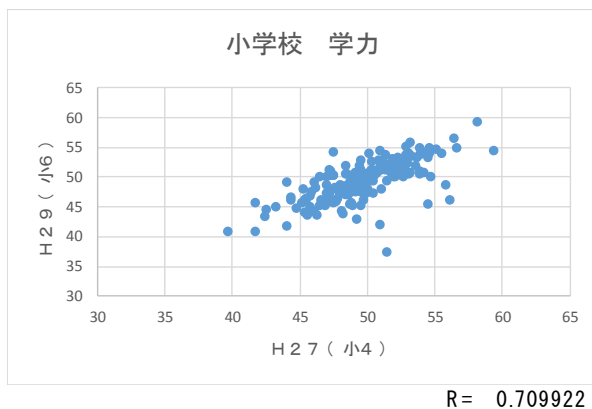


数学



同じ学年集団で小4と小6、中1と中3の学力調査結果の学校ごとの偏差値を散布図で表すと、相関係数は0.7~0.8と強い相関を示している。小学校に比べ、中学校の方がより相関が強い。また、教科ごとに見ると、小学校では国語と算数で相関にあまり差はないが、中学校では国語0.74に比べ、数学が0.85とより強い相関を示している。

こうした分析結果は、特に中学校では、中1から中3へと学力の大きな変動は見られず、この傾向は数学で顕著であり、数学の学力の基礎は小学校で育てておくことが重要であることを示唆している。中学校より弱いものの、小学校でも相関があることから、より早い時期から学力の定着・向上に取り組むことの大切さが窺える。また、中学校で学力向上に取り組む際には、小学校の内容に戻って復習することの重要性が改めて浮き彫りになったといえる。



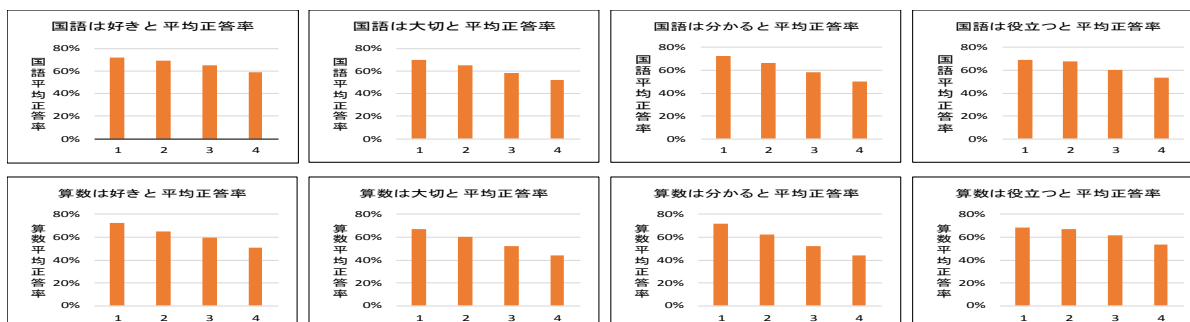
(2) 質問紙調査

平成27年度奈良県調査と平成29年度全国調査の児童生徒質問紙調査結果の比較

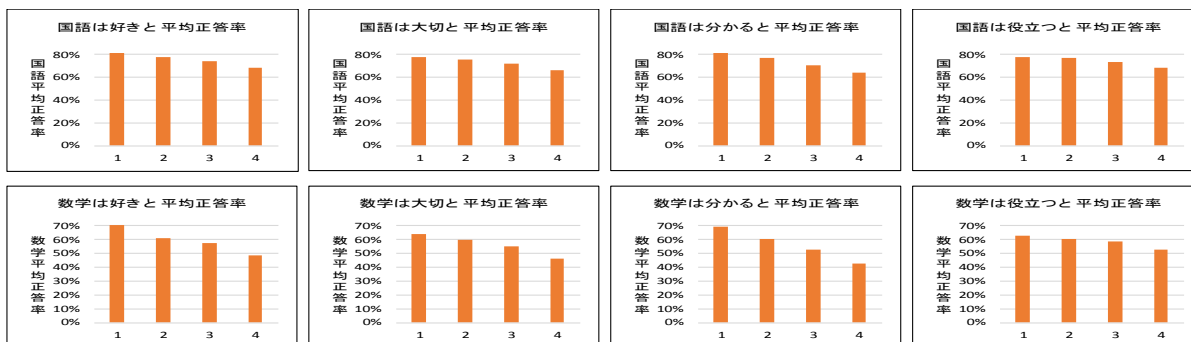
学習意欲に関する調査項目として、全国調査では「国語（算数・数学）の勉強は好きだ」「国語（算数・数学）の勉強は大切だ」「国語（算数・数学）の授業の内容はよく分かる」「国語（算数・数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」の4項目（小・中の国語、算数・数学を合わせると16項目）がある。これらの項目に対する児童生徒の回答状況と学力との関係を調べてみると、どの項目においても「1 当てはまる」と回答した児童生徒の平均正答率が最も高く、「4 当てはまらない」と回答した児童生徒の平均正答率が最も低い。中でも、最も顕著に差が見られたのは「国語（算数・数学）の授業の内容はよく分かる」の項目であり、特に算数・数学において差が大きい。

このことは、児童生徒にとって「よく分かる」授業を行うことが学力の定着・向上のためにとりわけ重要であることを改めて示唆しているといえる。また、奈良県調査でも同様の傾向が見られたが、特に、小学校4年生の算数では、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の平均正答率が80%近くに上り、算数では小学校低学年からよく分かる授業を行うことが重要であると考えられる。

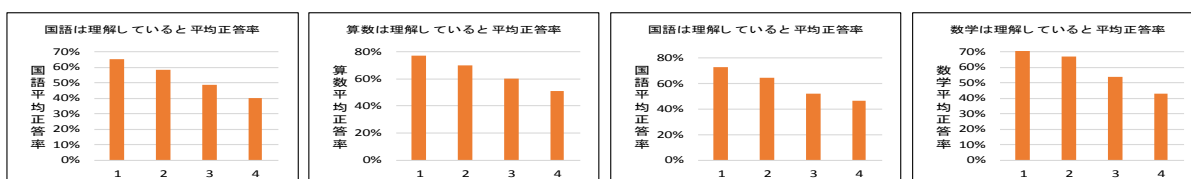
平成29年度全国調査（小学校）



平成29年度全国調査（中学校）



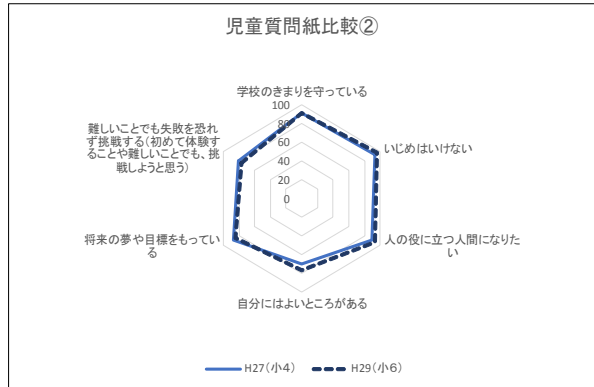
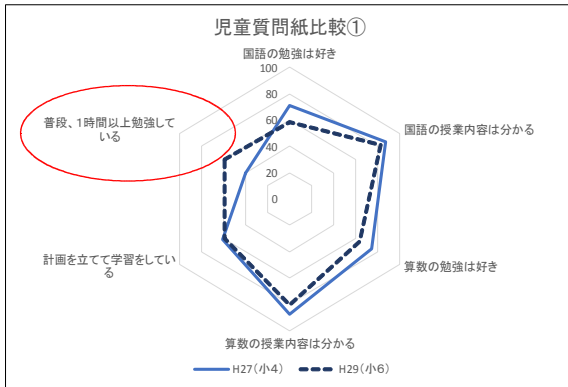
平成27年度奈良県調査（小学校）



平成27年度奈良県調査（中学校）

小学校、中学校とも、学習意欲に関する項目が低くなる一方、「普段、1時間以上勉強している」児童生徒の割合は高くなっている。また、規範意識については大きな変化が見られないが、中学校で「将来の夢や目標をもっている」生徒の割合は低くなっている。

〈小学校〉



〈中学校〉

